

定期門徒総会開催

日時 4月21日（土）

午後7時

★案内状を参照ください

*新年度の事業計画・予算案などの審議をしていただきます。
重要な会議ですので御欠席のないようお願い申し上げます。

明
徳
寺
教

責任役員就任ご挨拶

行岡 憲治

この度、2月4日の臨時門徒総会で、任期満了に伴う役員改選があり、新しく4人の役員が選出されました。4人の中に自分の名前を呼ばれたときは驚きました。断れないし、どうしようかと不安がよぎり、自分にこのような大役が務まるのかと心配しました。しかし選ばれたからにはお引き受けするよりほかになく、意を決して受諾のご挨拶をさせていただきました。その後4人の新役員で役割を協議した結果、責任役員と言う重責を担うことになりプレッシャーを強く感じております。

私自身、お寺の行事・仕事などについて良くわかりませんが、住職・総代・門徒の皆様のご指導とご協力を得て微力を尽くさせていただきたいと思っております。これから3年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

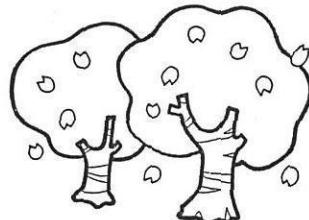
尚、総代さんの担当が次のように決まりましたのでご報告いたします。

*澤渡 正敏	会計
*横田 兵衛	儀式・研修
*藤田 新吉	営繕・環境整備

第 513 号

30年4月1日

真宗大谷派
木之本町黒田
発行者
秦 信映



24組「真宗講座」のご案内

明徳寺を会場として、24組「真宗講座」が開催されます。組内から50名ほど参加者があり、合唱団「山河サンガ」の演奏もあります。ご出席・ご協力下さるようお願い致します。

4月10日（火）午後7時より 講師は古田和弘九番大谷短大名誉教授

講題「正信偈に学ぶ」 *正信偈の意味を解りやすく教えてください。

特に若葉会などの若い人们にも聴聞していただきたくご案内いたします。



講師の富岡量秀先生

盛大に春季永代経勧修

去る3月17日に春の永代経を勤めました。午前10時から伽陀「先請弥陀・・・」、仏説阿弥陀経・正信偈同朋奉讃・回向・お文拜誦と続き、住職から「私がこれから大事にしたいこと」のテーマで「土徳」のお話をしました。11時30分からは御講があり、5組の皆さんが準備してくださいました。炊き込みご飯やお味噌汁などを中心に、50人ほどの参詣者が美味しくいただきました。

午後は12時50分から午前中と同じお勤めをし、1時30分から

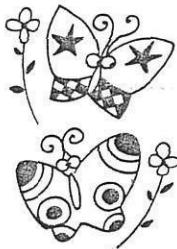
24組「山河サンガ」の皆さんによる仏教讃歌の演奏がありました。組内から27人の団員がお参りください、「衆会」「朝」「なんまんだぶつの子守歌」「いのちまいにちあたらしい」「回向」を歌ってくださいました。午後からは参詣者が減りましたが、それでも30人ほどの参詣者が美しいハーモニーに聞き入っておられました。

午後2時からは、記念講演として「つながりを生きる」を講題として、富岡量秀大谷大学教



24組合唱団「山河サンガ」の演奏

授（専門は真宗保育・幼児教育学）のお話がありました。私たちが生きていく上において何を大事にしているのか。何が大切なのか。また、子どもたちに何を伝えようとしているのかを課題として取り上げ、3つの問題を提起されました。①何を知っているのか。②知っていることをどうつかうのか。③どのように社会・世界とかかわり、よりよい人生をおくるのか。1時間30分のお話は、大人の生きざまが子供にそのまま投影されている現状を、私たちはどのように考えるのか、と問い合わせてくださったのではないかと思っています。手を合わす生活や、「ありがとう」「おかげさま」というような言葉を失ってしまっている生き方をもう一度見直すことの大切さをご教示下さいました。講演には、山河サンガの皆様も残って聴聞してくださり、とてもありがたいことでした。午後3時30分に恩徳讃を齊唱して散会しました。お世話を頂きました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、ご門徒の皆様にはご大儀をおかけしましたこと心より御礼申し上げます。



「御講」風景



住職の法話

住職のミニ法話

【某先生から次のようなお話しをお聞きしました。共に学びたいと思います】



*あるとき、目と鼻が対話をした。

目・・「体の中で一番うまいことしているのは誰だと思うか？」

鼻・・「口に決まっている。なぜかと言ったら、この間もいい食べ物があると思って臭いを嗅いでいたら、口が出て来てパクパクと食べてしまう。目の前は見ているだけのものやが、俺もこれは腐っていないかと臭いを嗅いでいるだけで損をしている。俺らは食べ物を探す役で、いつもいい目にあうのは口ばかりや」

※目と鼻が文句を言うと口は大変怒りだした。

口・・「そんなこというのなら、これから一切食べることを放棄する」

※口が食べなくなって1週間ほどしたら、目ヤニが出て来たり、鼻が詰まったりして困ったことが、目と鼻に出て来た。

口・・「どうだ分かったか。俺が動かないとお前らはそういうことになるのや。私は決していい目にあっているのではない。むしろ皆のために一生懸命食っているのだ。私は一番割りのあわない仕事をしているのだ。本当はやめたいのだが、実は私の口に運んでくる奴があるので困るんや。そいつは手なんや。こいつが困った奴だ。甘いものやら辛いもの、苦いものもあれば堅いものもある。何でもかんでも口の中に入れる奴がいる。だから仕方なしに噛まんならん。口の中はガタガタや。」

※口が手に文句を言う。

手・・「何を言っているのだ。割りのあわないのはわしの方や。重いものも汚いものも皆持たされるのはこの手だ。いつもひどい目に合わされている」

※そうすると誰が一番悪い奴かとなった。どうも足らしいということになった。

何故なら物を持たせるときに、物を運んでくる奴がいる。それが足だと言うことになり、皆で足に文句をいった。

足・・「お前ら皆で何を言っているのだ。わしは物を運ぶだけで、むしろお前らの重い体を全部引き受けて重い荷物を全部担いで、そして歩かさせられる。神経痛にもなるし、足が痛くなってもさすってくれもしない。非常に迷惑している。」

※結局一番悪い奴は誰かとなった。どうもあそこへ行けここへ行けと指令を出している奴がある。頭のところにいるらしい。脳と言う奴が一番悪いとなった。

脳・・「そんなことはない。指令を出すというよりも、聞く奴がおるから 悪いんや。いろんなことを聞くもんだから、あれやこれやとしなければならない」

※最終的に一番悪いのは耳と言うことになった。

耳・・「わしが一番悪いとは何ということだ。耳に聞こえても、目が見えるからあれもこれもせんならんと忙しなるのや。目さえなからたら何にもせんでいいのに」

★結局一番うまいことしているのは誰だと言うことから、一番悪いのは誰だとなり元に戻ってしまった話です。

仏様の教えを聞かないと、自己主張のままになってしまいお互いに支え合っている世界を見失ってしまいます。一緒になって認めあう世界を作り出して行くことが大事ではないでしょうか。仏法を聞く生活ということは、そうした世界を願う人になるということだと思います。そういう人に成るために、これからも聞法のご縁を大切にしたいものです。

【聞法のご縁】 *毎月5日—女性の集い 28日—ご命日の集い *毎週一日曜学校



4月の行事

1日	日	A.M 8:00	日曜学校
4日	水	P.M 6:00	合同会議 貢任役員、統代、 セ話オ、各文化団体長
5日	木	P.M 2:00	五日会講演 五村別院 荒山淳氏
		P.M 7:30	女性のつどい
8日	日	A.M 8:00	日曜学校
		P.M 7:30	婦人会総会 役員改選
10日	火	P.M 7:00	真言講座 古田和弘先生 —正信傳へ学ぶ—
12日	木	P.M 2:00	山河サンガ練習 於東入寺
14日	土	P.M 6:00	組寺族協議会 於東入寺
15日	日	A.M 8:00	日曜学校
中旬		P.M 7:30	責任役員、統代会
21日	土	P.M 7:00	定期門徒総会
22日	日	A.M 8:00	日曜学校
28日	土	A.M 10:00	親愛聖人御命日のつどい
29日	日	A.M 8:00	日曜学校

蟻は蜜を見つければ集団に持ち帰るが 人間は一人でこもり食べようとする